

ドラマが始まる

新

横

浜

都心

新横浜都心整備基本構想  
1999

# ここには **すべて** がある。

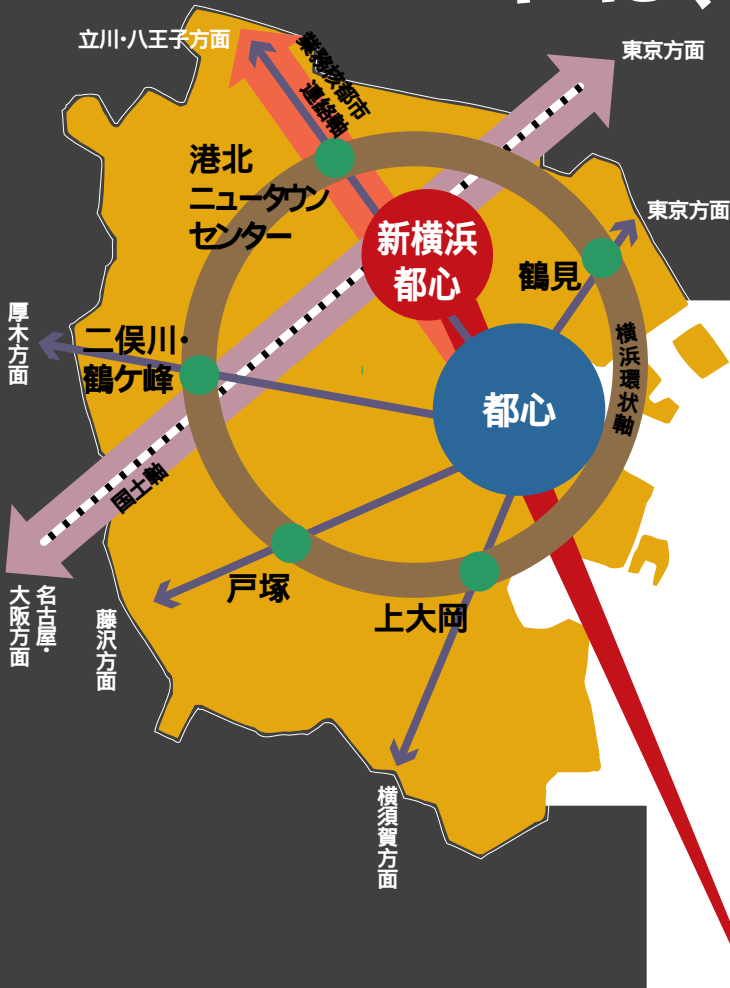
臨海部の都心とともに横浜の「ツインコア」を形成

日本の大動脈に臨むターミナル  
 情報の行き交うオフィス街や工業集積ゾーン  
 日本最大規模のイベントスペース  
 水と緑に恵まれた豊かな自然環境など  
 4つの地区から成る新横浜都心は、  
 たくさんの顔を持っています。

横浜市の総合計画「ゆめはま2010プラン」では、  
 新横浜都心と臨海部の都心を「ツインコア」として位置づけ、  
 この2つの都心と5つの副都心を交通ネットワークで結び  
 職住近接・多心型の都市構造づくりを目指しています。

新横浜都心のコンセプトは  
 交流・多彩・悠々。

4つの地区で暮らし、働く人々と  
 新しい都心に関心を寄せる人々を主役に  
 今、新たなドラマが始まります。

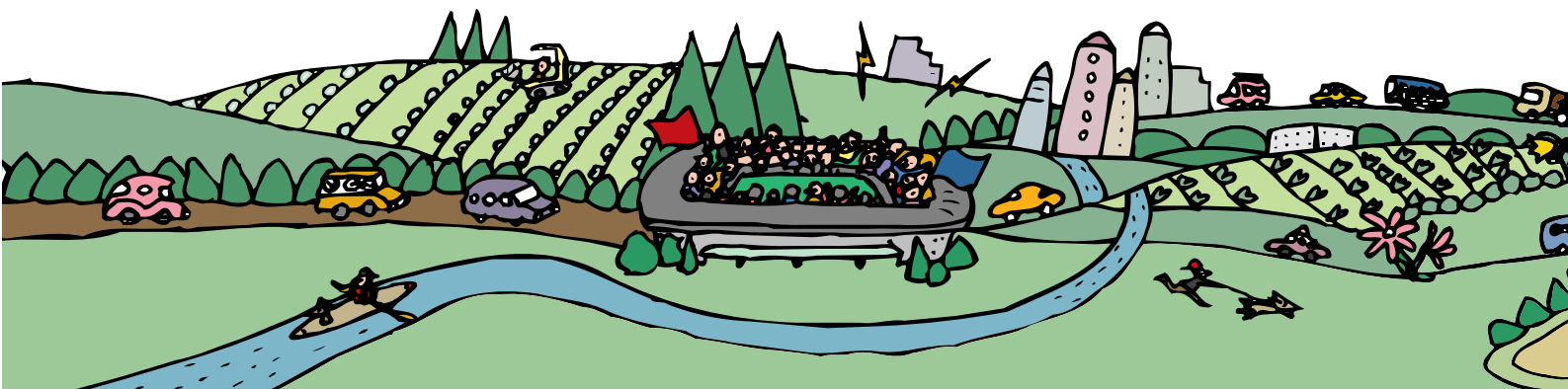


交流・多彩・悠々

3つをテーマに

個性ある地区が刺激しあって

新たな都心を創造します。



# 都市基盤整備の基本方針

## 道路

### ① 広域ネットワークの強化

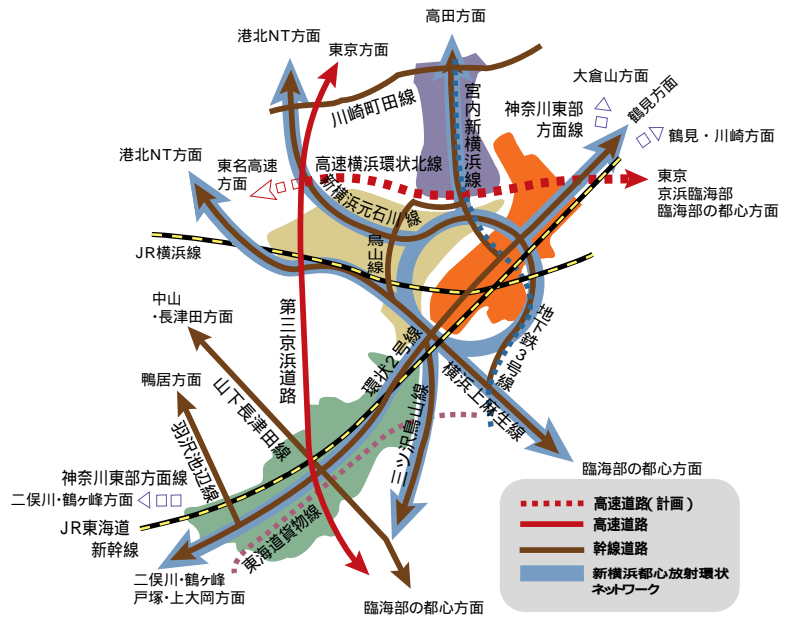
高速横浜環状北線と関連街路の整備で、再編整備の進む  
 浜臨海部、東京方面等との連絡を強化  
 環状2号線、山下長津田線、羽沢池辺線等の整備で、臨海部  
 の都心、副都心等との連絡を強化

### ② 都心内における放射環状ネットワークの形成

新横浜元石川線、鳥山線等の整備で、新横浜駅前の交通集  
 中を改善  
 新横浜元石川線、宮内新横浜線等の整備で、都心地区内の  
 連絡を強化

### ③ 街づくりと一体になった地区内道路の整備

### ④ 道路整備と併せたバス路線網の充実、駐車場整備、鉄道 輸送と自動車輸送の結節機能強化等、交通環境の整備



## その他

- ① 大規模イベントへの対応
- ② 新世代の都心の活動を支える情報基盤の整備
- ③ 広域交通利便性を生かした内陸部の防災拠点としての整備

## 鉄道

① 神奈川東部方面線の整備や地下鉄3号線のおぞみ野以  
 北への延伸などにより、東京都心方面、多摩ニュータウン  
 方面、二俣川・鶴ヶ峰副都心を経て県央方面、及び川崎  
 方面との連絡を強化

② 東海道新幹線列車の新横浜駅への全面停車促進など  
 によるターミナル機能の強化

③ 東海道貨物線の旅客駅設置

# 環境整備の基本方針

## 自然が生きる環境づくり

**水の景** 2つの河川がつくる潤いを生かす

鶴見川：スポーツ・レクリエーション拠点をつくる“悠  
 遊プロジェクト”の実施

新横浜公園：公園内に池、流れ、湿地など水のある環  
 境に接することのできる親水エリア整備

鳥山川：親水護岸整備、下水処理場処理水の活用  
 等による水辺環境の整備

**丘の景** 起伏に富んだ丘陵地の風景を守る

新横浜都心を囲む丘陵地の緑の保全

小机城址市民の森の環境整備

樹林や農地等を活かした公園整備

**大地の景** 農のある街づくりを進める

菅田羽沢農業専用地区等を、緑のオープンスペースと  
 しても評価

## 人に優しい街づくり

**バリアフリー** 誰にとっても動きやすい街づくり

道路や鉄道の横断箇所、駅をはじめ多くの人が  
 が利用する施設などのバリア解消

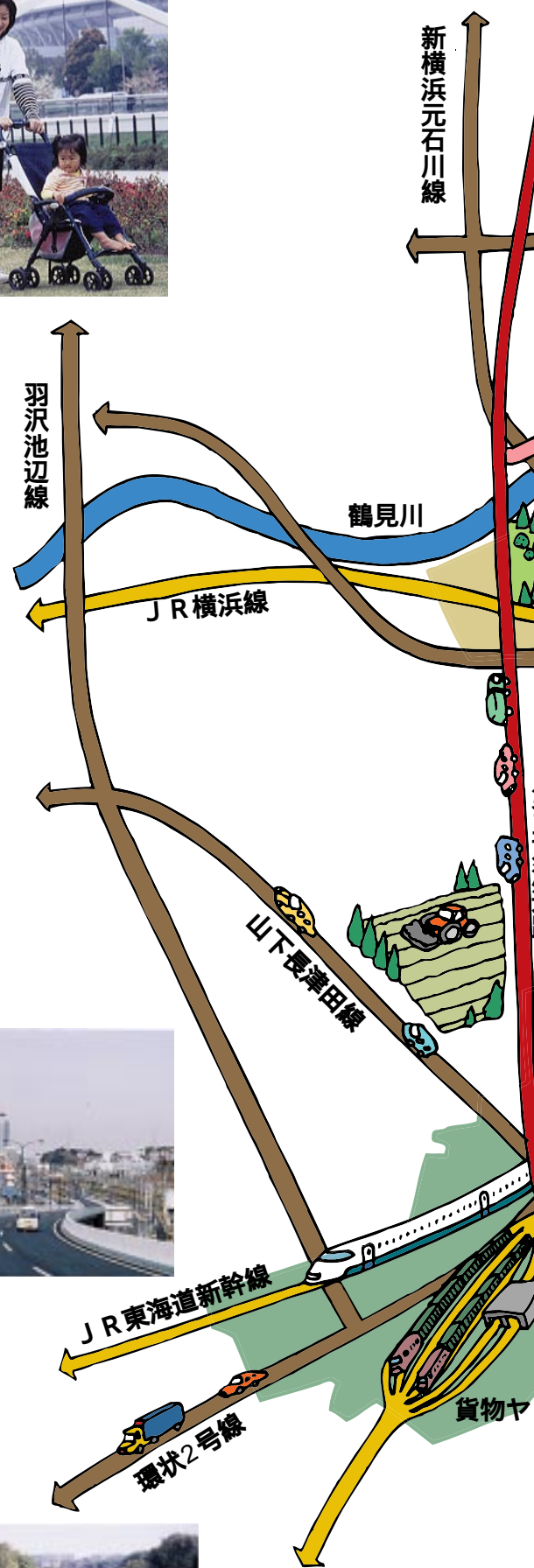
誰にでもわかりやすい誘導サインのデザイン

**都市デザイン** 横浜の新しい顔づくり

美しく、楽しく、新しい横浜の顔となるような都  
 市空間をデザイン

通りの個性を生かした、思わず散歩したくなる  
 ような歩行者空間をデザイン







## 城郷地区 安らぎ・フェスタ

### 健康・福祉・ スポーツが融合する

日本最大級のスポーツ・イベント施設である横浜国際総合競技場を有し、非日常のフェスタ気分を楽しめる地区。他方で、市内有数の中世の城郭跡・小机城址、渡り鳥も飛来する鶴見川や鳥山川に囲まれ、豊かな歴史や自然が息づいています。

この恵まれた環境を活かすため、競技場を中心とした新横浜公園の整備を推進するとともに、小机城址市民の森の環境整備、公園や市民の森と駅との回遊性確保を進めます。

また、小机駅舎の橋上化や自由通路整備に引き続き、駅前広場をはじめとする駅周辺の整備、横浜上麻生線沿道商店街の活性化、横浜線北側の農業エリアの土地利用検討、幹線道路整備等を総合的に推進し、便利で安全・安心な活力ある街を目指します。



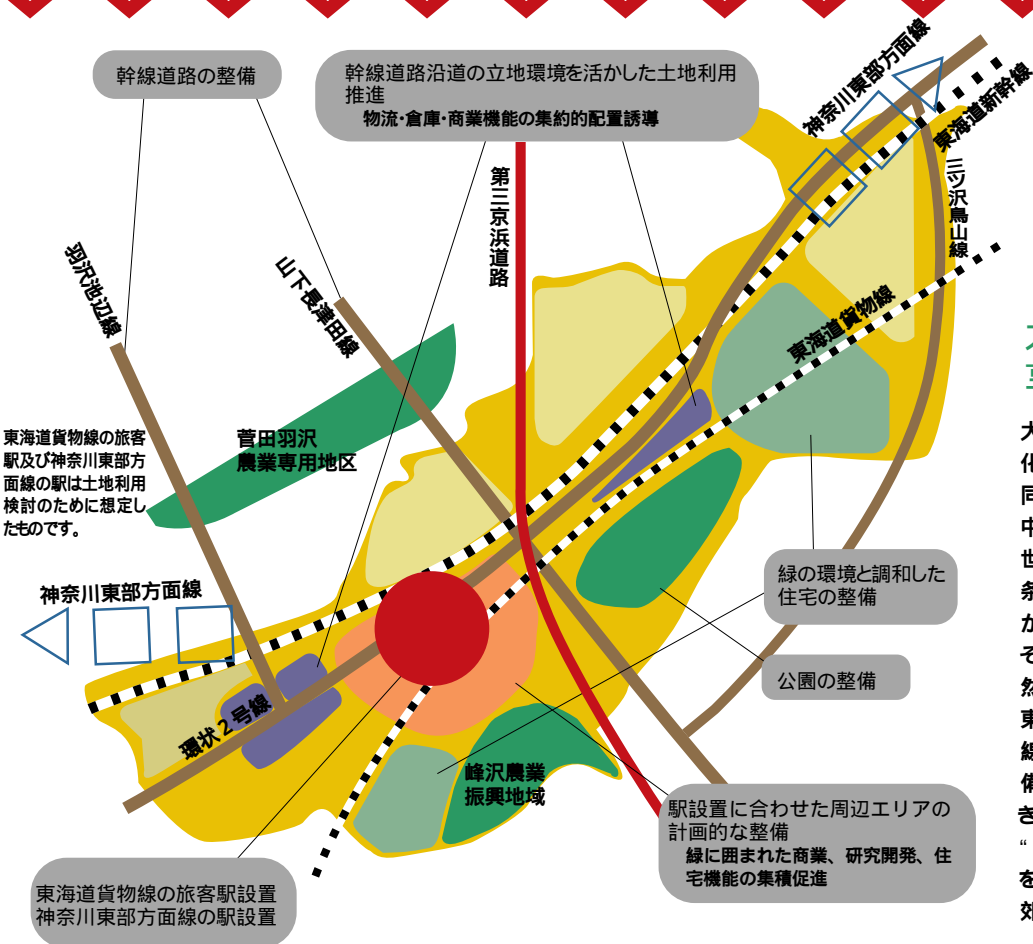
## 羽沢地区 ふれあい・大地

### 大地の恵みを 享受する

大地には農作物が実り、四季折々の自然の変化を味わいながら生活できる緑豊かな地区。同時に環状2号線や東海道貨物線が地区の中央を通り、新横浜駅や大学にも近いなど、新世代の都心の一翼を担う地区として発展する条件はそろっています。開発と保全のメリハリが個性化の鍵です。

そこで、樹林地や農地を大切にしながら自然と共生した住みやすい環境をつくる一方、東海道貨物線の旅客駅や神奈川東部方面線の駅設置を契機に、駅前広場や道路の整備など、駅周辺の一体的な街づくりを進めています。

“適度な開発密度”を保ちつつ、時代の流れを敏感にキャッチする都会性とゆったりとした郊外性が共存する街を目指します。

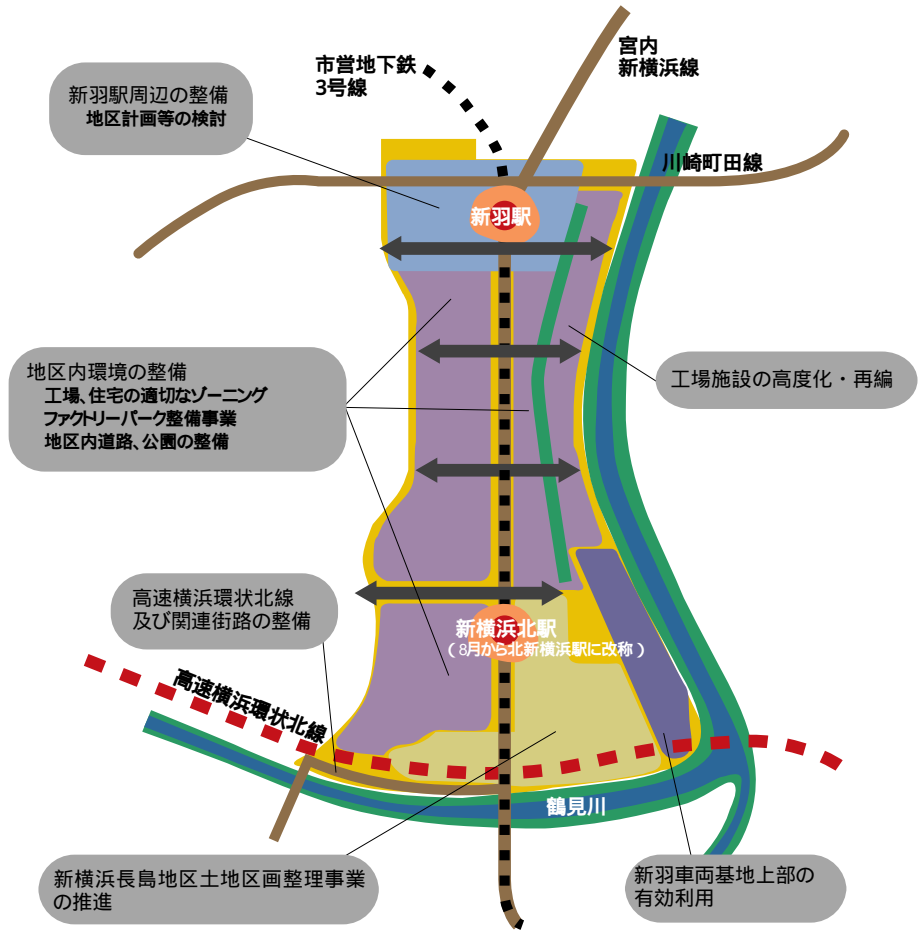


## 新羽地区 賑わい・創造

### 未来を見つめ 創造する

高い基盤技術に支えられた内陸部の“ものづくり”の拠点となる地区。限らない技術発展とビジネスの可能性に加え、職住が近接し自然とも共生するといふトリプルの魅力を秘めています。今後は、産業構造の変化や国際競争をも視野に入れて、生産技術の高度化、高付加価値化、地区外の研究開発機能との連携強化を進めていきます。

また、地域住民の方々とのパートナーシップによるきめ細やかな取り組みの中で、工場、住宅、農地の良好な関係づくりを進め、駅周辺では商業・業務等の集積を図るなど、駅前にふさわしい賑わいづくりを進めていきます。さらに、地区内道路や緑の環境整備などにより潤いのある都市空間を創造し、快適で未来志向の街を目指します。



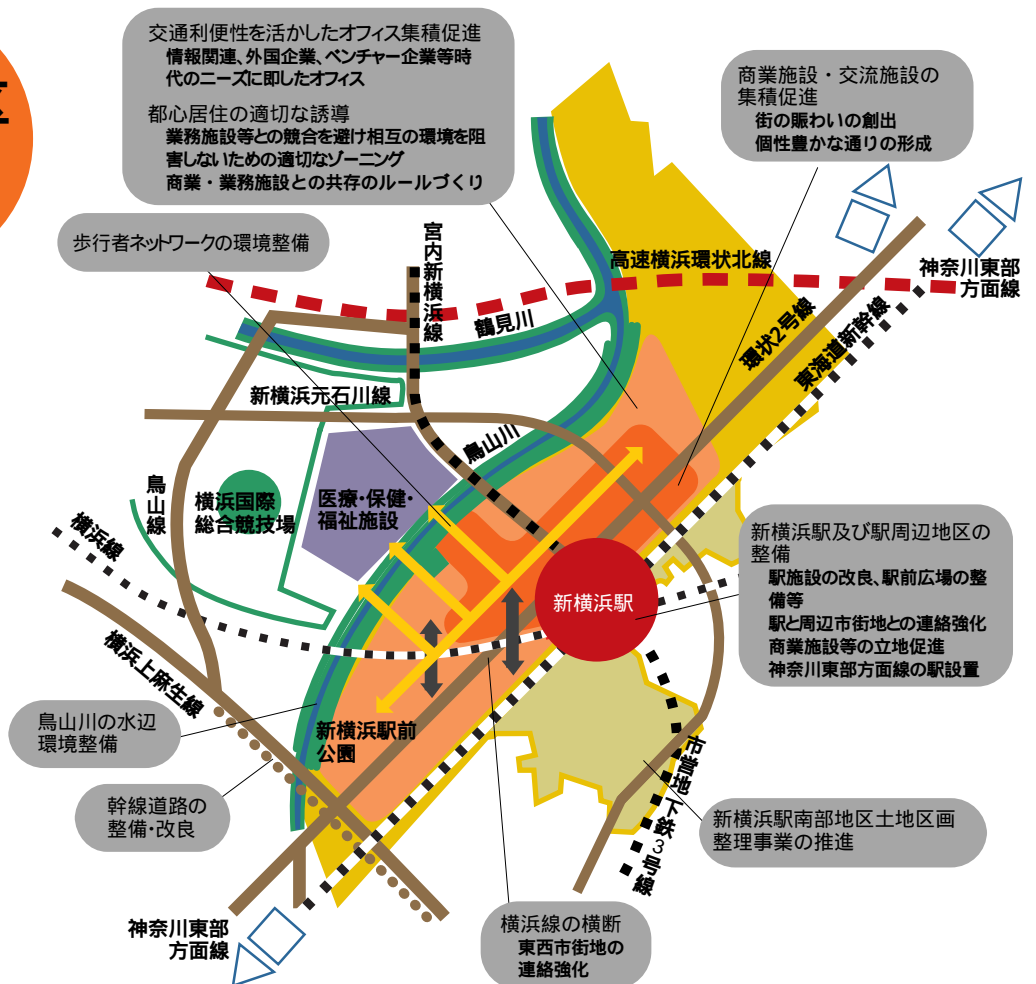
## 新横浜地区 出会い・発信

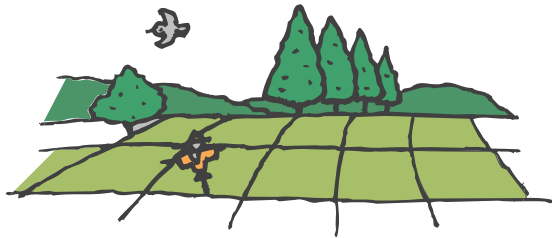
### 人が出会い 情報を 発信する

日本の大動脈・東海道新幹線と横浜線、地下鉄3号線の鉄道3線が交差し、さらに将来は神奈川東部方面線も整備される一大ターミナル新横浜駅を中心とする地区。オフィスビルに加えて個性的な施設が集まり、新世代の都心にふさわしい出会いと情報発信の拠点として着実に成長しています。

今後は、魅力的な商業・アミューズメント施設、文化・交流施設等の充実による“楽しめる街”づくりが課題です。また、ターミナル機能の一層の強化や都心の“顔”づくりに向けた新横浜駅及び駅周辺地区の整備、鳥山川の水辺環境や駅と多くの人が集まる施設を結ぶリードの歩行環境の整備などを進めています。

また、新横浜駅の北部地区では、地域住民や企業の方々には街づくりに関する協議（建物の用途や壁面後退等）をお願いしていますが、今後ともより一層のパートナーシップにより、人に優しく元気な街を目指します。





昭和37年頃の  
新横浜



**横浜市都市計画局都市企画部企画調査課**

〒231-0017 横浜市中区港町1-13045-671-35125045-663-3415  
インターネット <http://www.city.yokohama.jp>

1994(平成11)年6月発行 デザイン・ティム(有) 印刷・内村印刷(株)  
横浜広報印刷物登録第110035号 種別分類 C-JA020

「このパンフレットは古紙混入率60%の再生紙を使用しています」

**新  
横  
浜  
都  
心  
整  
備  
の  
経  
緯**

- |      |       |  |
|------|-------|--|
| 1964 | 昭和39年 | 新幹線新横浜駅開設<br>新横浜駅北部地区土地区画整理事業都市計画決定(82.6ha)  |
| 1965 | 昭和40年 | 第三京浜道路開通、港北インターチェンジ開設  |
| 1968 | 昭和43年 | 横浜線の複線化(東神奈川 小机)   |
| 1975 | 昭和50年 | 新横浜駅北部地区土地区画整理事業換地処分   |
| 1976 | 昭和51年 | 新幹線「ひかり」停車(0本 2本)  |
| 1985 | 昭和60年 | 市営地下鉄3号線開通(横浜 新横浜)<br>新幹線「ひかり」大幅停車増(6本 51本)  |
| 1987 | 昭和62年 | 横浜市総合リハビリテーションセンター開設   |
| 1989 | 平成元年  | 横浜アリーナ(1万7千人収容)オープン  |
| 1991 | 平成3年  | 横浜労災病院開設   |
| 1992 | 平成4年  | 障害者スポーツ文化センター(横浜ラポール)開設<br>横浜市総合保健医療センター開設   |
| 1993 | 平成5年  | 市営地下鉄3号線延伸(新横浜 あざみ野)<br>横浜総合運動公園(新横浜公園に改称)(70.4ha)及び<br>鶴見川多目的遊水地(81.9ha)都市計画決定                                |
| 1994 | 平成6年  | 新横浜駅南部地区土地区画整理事業都市計画決定(37.1ha)   |
| 1995 | 平成7年  | 新横浜長島地区土地区画整理事業都市計画決定(12.9ha)  |
| 1996 | 平成8年  | 新横浜都心基本構想検討委員会及び地区別懇談会設置 <sup>注)</sup>   |
| 1997 | 平成9年  | 新幹線「のぞみ」大幅停車増(3本 16本)  |
| 1998 | 平成10年 | 横浜国際総合競技場(7万人収容)オープン<br>基本構想検討委員会が提言書をまとめる<br>都市計画道路環状2号線全線供用開始<br>横浜市スポーツ医科学センターオープン<br>今後の新横浜都心整備に関するアンケート実施 |
| 1999 | 平成11年 | 新横浜都心整備基本構想パンフレット発行  |

注) 学識経験者、交通事業者、地元代表などとともに、今後の新横浜都心のあり方について検討した委員会。並行してより多くの地元の方の意見を反映するための地元懇談会を開催した。

現在の  
新横浜

